



申14号

To:  
JESS

## 2024 年度年末手当に関する申し入れ

### 輸送サービス労組要求趣旨

- インバウンド需要や旅行者数の増加により、JR東日本グループの第2四半期決算に貢献している。これは現場の努力の賜物である。
- 2024年に賃金引上げを実施してしたが、社会状況では、円安や物価上昇が続き、実質賃金が追い付いていない現状が続き、組合員・社員の生活実感が向上していないことから改善が必要である。
- ステーションサービス会社の第2四半期決算概況については、前年度同期比増収減益の厳しい状況であるが、引き続き労働条件の向上に向け、働きやすい環境及び制度づくりに努力するべきである。
- JR東日本の玄関口である駅業務社員に対し、カスハラや暴力行為が多発している。また安全を脅かす事象が多発していることから、安全第一の企業体質を構築していくべきである。
- 退職者がいる中で新入社員が入社しない現実がある。選ばれる企業を目指すためには、更なるヒトへの投資を行うべきである。

### 私たちの要求

基本給月額（契約社員を含む）の

# 3.5ヶ月＋5万円

### 会社の現状認識と交渉へのスタンス

1. 変革2027の実現に向け、日々の奮闘に感謝申し上げる。決算状況については増収減益の厳しい状況であり、更なる増収及び効率的な業務運営が必要である。人件費による営業費用の増加により、第2四半期決算は厳しい状況であるが、年末手当については、できる限り社員の労苦に報いるために総合的に判断していく。
2. 駅の戦略会社として、ヒトだからできるサービスに尽力を傾注していく。その中で、人材確保が重要な課題である。

### JESS 第2四半期決算

(単位：百万円)

	2023年度		2024年度	
	実績	実績	金額	比率
営業収益	8,302	8,406	103	101.2%
売上総利益	865	824	△41	95.2%
営業利益	62	△22	△84	—
当期純利益	29	△27	△57	—

インバウンドを始めとした利用者の増加に対する  
“現場の努力”に報いるために満額回答が必須だ!

2024年11月8日 JESSと第1回団体交渉を行う  
仕事を通じて人間らしい豊かな生活を実現することが重要であり、  
現場の努力に応えるために満額回答を求めよう!